



平成 29 年度
第 70 号



能登高だより

女子ソフトテニス部

31H 山本 英里



インターハイ出場を掛けての大会だったのでとても大きなプレッシャーがかかりました。しかし、地元での開催だったおかげで多くの方の応援もあり、比較的落ち着いて試合に臨めました。そのおかげで、9年ぶりの団体優勝を果たすことが出来ました。優勝が決まった瞬間、あまりの嬉しさに、涙が止まらないうちに観客の皆さんからの鳴りやまない拍手を聞いて、達成感も感じました。

ですが、北信越大会では2回戦敗退。本当に悔しく、応援に来てくださった保護者の方々へも申し訳ない思いでした。その後、試合内容だけでなく、細かい所の反省、これから頑張っていく事をみんなで話し合いました。負けたからこそ色々な所を見つめなおす事ができ、マイナスなことばかりではなかったと思います。

この1ヶ月、勝つ嬉しさと負ける悔しさの両方を経験することで、練習中の意識も変わり、インターハイに向け、残り1ヶ月切磋琢磨しながら頑張ります！

女子ソフトテニス

優勝

インターハイ出場決定!!

男子ソフトテニス 北信越 3連覇!!

男子ソフトテニス部

31H 大澤 和馬

僕たちは、総体では個人・団体戦共に優勝することができず、悔しい思いをしました。冬の新人大会、選抜大会、北信越大会とずっと優勝してきました。そのため、今回の総体もきつとかなるだろう、だれかがきつとかなしてくるだろうと、心に隙が生まれてしまい、今回の結果につながったのかもしれないと思います。その代わり、部員一人一人が悔しい思いを持ちながら挑んだ北信越大会では、念願の団体優勝を果たすことができました。どの試合もギリギリの戦いで、不安ばかり募っていたので、優勝を決めた瞬間は、感極まるものでした。北信越大会で優勝できたのは、今まで練習してきた成果でもあります。米澤監督を初めとし、保護者の方々や地域の方々からのご支援があったからだと思います。

今回の総体と北信越大会では、大きな失敗を経験するともに、大きな成功と喜びも得ることができました。特に総体の団体戦で負けてしまったことは忘れられません。この失敗を今後の糧にしていきたいです。



最後に、インターハイまで残りわずかですが、精一杯がんばろうと思います。応援をよろしくお願いします！

アーチェリー部

33H 山口 真琴



総体の団体戦で準優勝だったため、チームの目標だったインターハイ団体戦出場を達成することができず、悔しい思いがずっとありました。いつもとは全く違いすぎるぐらいに天候が悪く、十分に練習の成果を発揮することができませんでした。先輩達が繋いできたバトンを自分達の代で途切れさせってしまったことも申し訳なく、残念でした。しかし、北信越ではその思いをバネに、今まで以上に声を出し、集中力を切らさずに最後の一射まで射ち切ることができ、団体戦で優勝することができました。しかも、決勝の相手が総体で敗れた金沢向陽高校だったので、リベンジを果たすことができたことも嬉しかったです。

団体戦でのインターハイ出場はできませんが、個人戦で出場し、みんなの分まで諦めず射ち切り、入賞目指してがんばっていきます。

アーチェリー 北信越 優勝!!

陸上競技部

12H 中町 真澄

僕は高校へ入学してから、円盤投げという種目に出会いました。最初は、先生からすすめられたことがきっかけでしたが、意外と楽しかったのでやってみることにしました。最初は上手く飛びませんでしたでしたが、毎日の練習や自主練を積み重ねた結果、きれいに飛ぶようになりました。今の状態に満足するのではなく、もっと上を目指し、できないことへの悔しい気持ちを持って練習を積み重ねました。そのおかげで、初の総体でも4位入賞し、北信越にも出場できたのだと思います。入賞はできましたが、どうしても北信越大会までにフォームを直したかったので、必死に練習をしました。そのおかげで、少し良くなることができ、自己ベストを更新することができました。しかし、これに満足せずにもっと高みを目指して頑張っていきます！



女子バスケットボール部

31H 赤塚 彩

春から指導者が変わり、今までと練習環境が大きく変わり戸惑いしましたが、部員同士が今まで以上に話し合うことで新しいチームを作っていくことができました。結果としては残念な結果となりましたが、悔いの残らない試合をすることができました。ありがとうございました。

柔道部

31H 川端 優也

入賞とまではいきませんでした。が、今大会では1年時の自身と比べると確実な成長を感じ、持てる力を惜しみなく発揮することができました。これからは、お世話になった方々への感謝と共に、進路実現へ向けてより一層勉強に励んでいきます。

茶道部

31H 川口 稜

高文連茶会に参加し、他の高校生のお点前などを見ることができ、勉強になりました。また、お客さんという大役をいただき緊張しましたが、とても良い体験をすることができて良かったです。

男子バスケットボール部

31H 石上 竜雅

部活動を通して、仲間と協調する大切さを学びました。勝負に勝つためには一人では勝てず、仲間との意識がバラバラでもいけないからです。仲間とどう協調し、勝つかを考えることはとても難しく、楽しい経験でもありました。

バドミントン部

31H 大島 愛水

高校総体を終え、1日1日の部活動での練習がどれだけ大切だったかを強く感じました。後輩の皆さんは終わってしまったから後悔することのないように、1つ1つの練習を意味のある内容とし、無駄のないものにしていくください。あとは、怪我には注意してください。

卓球部

32H 向谷 智稀

僕はどの部活の部長よりも頼りなかったですが、どの部長よりも笑顔でいられました。経験も実力もありませんでした。部員のみんなや、OBの先輩達は僕にとって大きな支えでした。卓球部のみんなと過ごした時間は僕にとって宝物です。ありがとうございました。

陸上競技部

33H 前田 亜由夢

僕は体力をつけて強くなりたいと思います。入部しました。部長となり、みんなと練習していくうちに、互いに高め合えました。そのおかげで、最後の総体で悔いのない結果を残すことができて良かったです。

男子ソフトテニス部

31H 奥野 立樹

今年の総体、団体戦では最大限の力を発揮できませんでした。惜しくも準優勝という結果に終わり、インターハイへの切符を逃してしまいました。その悔しさを忘れず、一人一人の力を合わせ、北信越では見事優勝することができました。今までたくさん応援してくださり、本当にありがとうございました。

アーチェリー部

31H 斉藤 駿

結果は団体・個人共に、準優勝でした。チームの目標を達成できなかったことは残念ですが、後輩達にとっては多くのことを学べたと思います。日頃の練習を大事にし、もっとやってあげれば良かったと後悔することのない日々を過ごしてほしいです。

七月行事予定

- 1日(土) 土曜スクール
- 4日(火)～7日(金) 1学期期末考査
- 10日(月) 校内球技大会
- 11日(火) 石川県高文連文化教室
- 12日(水) インターハイ・野球部 壮行式
- 15日(土) 土曜スクール 1～3年進研記述模試
- 21日(金)～28日(金) 夏季前期補習

吹奏楽部

31H 多田 真由美

他校の迫力ある演奏を聴き、大きな刺激となりました。今回学んだ事を活かし、人数の少なさを感じさせない私たちの熱い演奏ができるように、コンクールに向けて頑張ります！

美術部

31H 鍛冶谷 友香

私は第37回石川県高等学校総合文化祭美術展に「共生」という題名で出展しました。自分らしく満足できる作品に仕上げることができ悔いはありません。後輩達には経験をとおして良い作品を作り上げてほしいです。